

日曜日に少し予告してしまったので。アメリカの大統領選挙ですよええ。

今司会の方が「トランプ大統領敗れた」と断言なさったんですが、まだ決まってません。

日本のマスコミは「バイデン大統領誕生だ」と報道しているので、そう思うのも無理ないと思いますね。

同時に、負けを認めようとしないトランプという男は、なんと往生際が悪いのか。

負けたにも拘わらず、恋々といつまでも地位にしがみつくとは、なんと潔く（いさぎよく）ないのか。

“潔くない”という事で思い出したんですが、ネットを見ていると“いさぎ悪い”という使い方をしている人がいるんですね。これは日本語の語法として誤りです。

“潔い（いさぎよい）”は潔（きよい）という言葉に“いさ”という強める接頭語が付いているんです。

“いさきよい”が濁って“いさぎよい（潔い）”。潔（きよい）は清々しい事ですね。

つまり、どんなに不利な嫌な結果であったとしても、未練がましくなく、さっぱりとその事実を受け入れる事ですよ。だから潔い。

「潔くない人物、それがトランプだ！負けは負けとして認めろよ！」みたいな報道が多いですよええ。

しかし、例えばオリンピックの最終競技は、どの大会でもマラソンです。

1位・2位・3位のメダリスト、彼らが勝利した時、必ずやらなければならない事がドーピング検査。

その競技に参加した者として、不正な手段を取っていないか。ステロイドを打ってないか。

なぜ、平凡な記録の選手がこんなにすごい記録を出したんだ？という事で、競技が終わってからも抜き打ちで、選手村のホテルで休んでいる真夜中の2時3時、寝込みを襲って突然来るそうです。

ドーピング検査をきっちりやらないとダメ。もしドーピング検査をしないなら、しないという事が不正です。

「いや、1位になったんだから、その事実を受け入れて。それに対してイチャモンをつけるというのは、相手に無礼・失礼ではないか！」そんな話じゃないんです。

もし不正な手段を使って、その輝かしい地位に就いたとするなら、徹底的に洗い出さないと駄目ですよ。

実は、今回のアメリカ大統領選挙は、アメリカ史上最も組織的に不正な選挙をやったのではないかと、言われているんですね。この件について、毎日のようにアメリカからメールが来るんです。

アメリカ在住の友人・クリスチャンの知り合い・色々な方が「高原さん、こんな事もあった！あんな事もあった！言うてくれ！」みたいな感じで。

例えば、民主党の支持者にはボールペンを渡して投票用紙にチェックするのに、トランプ大統領支持者にはマーカーペンを渡してトランプの選挙人を選ぶ。マーカーペンは機械が判読出来ません。

それで、トランプ票が無効になると。

或いは、トランプ票をゴミ箱に捨てている。捨てられた数千票のトランプ票が見つかった。

ゴミ箱に捨てているところを動画で撮って、それを送って来るんです。他にも色々ありますよ。

でも、動画を見るとぼやけてるんですよ。確かに捨ててる。

でも、それがバイデン票なのかトランプ票なのかを見届ける事が出来ない。

ずっと聞いていると「それはアカンやろ。それは許し難いやろ」となるけど、私はそれらの情報の裏を取る事が出来ないんです。一方的に言っているだけか、本当に根拠がある事なのか、私は調べようがないんですよ。なので、ファクトだけで証明していかないと駄目です。

今回、“なぜ民主党が組織的にここまでやらなければならなかったのか”について、ファクトだけでみっちり『ごうちゃんねる』で話しました。

それは明日の晩の7時にアップされますので、バン/BAN される前にぜひご覧ください。

バンとは取り下げです。言い過ぎだと。その可能性があるのではと思っています。

なので、そうなる前にぜひご覧頂いて、高評価、チャンネル登録をぜひお願いしたいと。

一つだけ言わせてもらいますと、不正な証拠があると言っているだけでは駄目で、それを最高裁に持って行って、立証しないと駄目なんです。「不正だ！不正だ！」と言ってるだけでは事態が動かない。

ところが今回、トランプ大統領側の法律顧問・元ニューヨーク市長ジュリアーニが非常に頑張っているんですね。10万件以上もの不正の確たる証拠があると自信満々で、昨日から反撃開始したんです。

そして今、すごい事が起こっている。

大統領選挙でどんな投票の仕方をするのか、その投票ルールはそれぞれ50州の議会が個別に決めます。これは合衆国憲法第2条で決められています。

「バイデンが取った！」と決定的になった州はペンシルベニア州で、その州議会は共和党が取っている。共和党は「郵便投票で不正が行われるだろう」と前々から言っていたので、不正が入り込む余地を少なくするために、郵便投票する人は事前に筆跡を登録し、送られて来た文書の筆跡と照合して本人が書いたのかをチェックする。

また、投票は11月3日の午後8時が締め切りなので、それまでに到着した投票用紙だけを勘定する。そう決めたんです。憲法に基づいて決めたんです。正しい事です。州の独立性に基づく事なんですね。

ところが、民主党がペンシルベニア州の最高裁に訴えた。最高裁は民主党系の判事なんですよ。

そして、「筆跡と言うけど、教育レベルが低くてあまり自分で書いた事がない人は、毎回書くたびに字体が変わる事があるし、それで票が無効になるのは権利を剥奪する事になる。」「色んな郵便事情があるから、そんなに厳格にしなくてもいい。」

結局11月6日までに到着したら全部オーケー。これは憲法違反です。

“選挙のルールを決めるのは州の議会”と書いてある。

だけど、最高裁が決めたからという事でそれでやって、トランプさんが数で負けたんですね。

それに対して共和党が、特にジュリアーニが先頭に立って、連邦最高裁に訴えました。

今の連邦最高裁は共和党です。9人の内6人が共和党。そして、連邦最高裁から「11月3日の午後8時以降に到着した票は別にしなさい」と命令が出ました。これには従わなければならないんですね。

その結果どうなったか？ペンシルベニア州でバイデンさんが取ったはずの選挙人は取り消されている。ミシガンでも同じ事が起こるのではないかと。ジュリアーニさんは自信満々。

12月8日に選挙人が投票します。大統領選挙は選挙人を選ぶ選挙なんですよ。

選挙人はあらかじめ「私はバイデンに投票します」「私はトランプに」と言います。

この選挙人が12月8日に投票して、初めて決まるんです。

ところが毎回、数人ですが、違う候補に入れる選挙人がいる。「バイデンに入れる」言うたからアンタを選んだにも拘わらず、当日トランプに入れる！みたいな人が毎回数人いるんです。アメリカン・デモクラシーとか言われているけど、このシステムって何なんすか？それは、その国の事やから。

で、裁判まで持って行って、12月8日までに決着しない可能性があるんです。ブッシュ・ジュニアとゴアがフロリダ州の三百数十票の差で、再集計するかどうかを最高裁で決めてもらうのに12月中旬までかかりました。

12月8日の段階で、有効か有効でないかが判断出来ない場合、その州の選挙人の選挙が無効になります。そうすると、270票以上取った方が大統領になるのに、両方共270票に届かない可能性がある。その場合は下院で決まります。下院は議席では民主党が取っているけど、大統領を決定する時の下院は1つの州で1票ずつ。今勘定すると共和党が26票。つまり、下院まで行ったら、トランプ大統領が再選する可能性があるんです。今、バイデンが優勢である事については、全然変わりありません。

これからバイデンさんの事を言う時、バイデン・バイデン言うてたらバンされるかもしれへんから、「バイデンと言う代わりに梅田（うめだ）さんと言いなさい」とある方がね。梅田と書いてバイデンと読む。私今まで難波（なんば）の方が好きやったけど、これからは…とか、そんな話じゃないですよ。あんまりバンされそうになったら梅田さん。トランプさんの事はカードさん。花札さんとか、色んな提案がなされているようですが。

まだ正式に決まったワケではないけれど、今とにかくフェイクニュースが多い。皆さん、読みませんでしたか？トランプ大統領が中々諦めようとしないので、メラニア夫人やクシュナー氏/娘夫婦、共和党の重鎮たちが「もう、やめとけや」と。それで、メラニア夫人に突撃したインタビュアーがいて「どうなんですか？」即座に否定したでしょ。「私たちは家族一丸で戦っているんです。」大統領再選失敗したらすぐ離婚するとか、出てませんでした？フェイクですよ！

インターネットは悪い面もあるけど良い面もいっぱいあって、大手メディアが言ってる事を鵜呑みにして、もう全然違うという事があるので、本当にそれぞれの見識が問われて来るようになると思います。とにかく、ご家族や共和党の上層部が言っているのは「不正を正さないとアカンのや！」詳しくは『ごうちゃんねる』を見ていただいたらと思います。

なぜこの話を最初にしたかという、今日の黙示録9章後半は、不当な扱いを受けて命まで落とした人たちへの、正義を希求する祈りに対する神の応えが書いてあるんです。「酷い事・不当な事がなされて命まで奪われているのに、神は正しい審判を行ってくださらないんですか?!」という事への応え。その応えが見事に地上に下ったという事が書いてあるんですね。毎回見っていますが、ちょっと復習します。なんせ月1回なので、前回の事も忘れてしまいますよね。

人類は最終的な終わりの時代に入ります。この終わりの時代を患難時代と言います。これは、旧約聖書では“主の日”と言われていて7年間続きます。そのスタートはイスラエルと反キリストの和平条約（7年契約）で、終わりはイエス・キリストが地上再臨する事です。スタートから最後までが7年間。

この7年間は〈前半3年半〉と〈後半3年半〉に分ける事が出来ますが、前半と後半では全く違います。スタートするや否や大変な時代だけど、後ろに行けば行くほどもっと酷くなるんです。実は患難時代の前に、キリストが空中までクリスチャンたちを迎えに来ると書いてあって、天に引き上げられるのですが、自称クリスチャンたちは残るんですね。

今日語る場面の陰の主役は残る教会です。残る教会とは何か？

「洗礼受けました。」「聖書読んだ事があります。」「牧師やってます。」

でも、本当の意味でクリスチャンじゃないという人たちがいるんです。イエス・キリストが神の御子である事を信じていない牧師とか、キリストが3日目によみがえった事を信じていない牧師とか、なんぼでもありますよ。今、おかしい教えがいっぱい横行していますね。

自称クリスチャンがどうなるかという、患難時代に入って教会やっています。世界統一宗教として。7年間の前半、世界で1番大きな権力を持つのは世界統一宗教です。世界的スケールの宗教団体が、世界で最も大きな権力を握る。これが7年間の前半3年半。

黙示録では7年間で3つに分けています。〈前半の前半〉と〈前半の後半〉、そして〈後半〉。〈前半の前半〉を7つの封印で、〈前半の後半〉を7つのラッパで、それぞれ7段階で説明しています。

〈前半の後半〉の7つのラッパは4つと3つに分ける事が出来ます。

まず4つのラッパは自然界に対する神の裁き。人間が住んでいる環境に対する裁きです。

しかし後ろの3つ、5・6・7番目のラッパは人間への直接的なアタック。

5番目のラッパで、悪魔とその手下の悪霊たちが人間に直接攻撃を掛けるけど、死にまでは至らない。

だけど、今日見る6番目のラッパは、悪魔と手下の悪霊たちが人間を死に追いやります。

人類史上最初で最後の異常な事が起こり、その結果生き残っていた人類の1/3が殺されたと書いてある。患難時代の出来事はどれもこれも恐ろしいけど、その中でも特別に恐ろしい事の中の1つが第6のラッパで起こる事です。

では黙示録9章12節からですが、最初にざっくりと内容を言います。

天国に祭壇（神に祈りを献げる場所）があって、この祭壇から声がして命令を出します。

「ユーフラテス川のそばで、4人の御使いが繋がれている。彼らを解放しなさい。」

解放された御使いたちは、2億の軍勢を使って人類の1/3を滅ぼした。

しかし、生き残った2/3の人類は、それを見ても悔い改める事はなかった、という内容です。

この内容から3つのポイントで紹介したいと思います。

1) 悪に対する正義の審判…患難時代とは悪に対する正義の審判です。

2) 審判の手段として用いられるものの正体

3) 悔い改めへの招き

1) 悪に対する正義の審判

黙示録9:12-13

12. 第一のわざわい（第5のラッパ）は過ぎ去った。見よ、この後、なお二つのわざわいが来る。

13. 第六の御使いがラッパを吹いた。すると、神の御前（みまえ）にある金の祭壇の四本の角（つの）から、一つの声が聞こえた。

天国の神の御前にある金の祭壇から声が聞こえたとは何の声なのか？ どういう意味なのか？
前半部分に、金の祭壇の前でこういう事実があったんですね。

黙示録 6:9-10

9. 子羊が第五の封印を解いたとき、私は、神のことばと、自分たちが立てた証しのゆえに殺された者たちのたましいが、祭壇の下にいるのを見た。

10. 彼らは大声で叫んだ。「聖なるまことの主よ。いつまでさばきを行わず、地に住む者たちに私たちの血の復讐をなさないのですか。」

罪もないのに、イエス・キリストを信じているという理由だけで殺害されたり、拷問されて殺された殉教者たちの魂が天国に行って神に訴えている。

「今地上で無茶苦茶な事が起こっているのに、これに対する裁きはないんですか？ 神様、あなたは正義の神です。悪を憎む神です。しかし、人類史上最も悪が横行しているのに、あなたは何の介入もなさらないんですか？ いつになったら、この悪に対して裁きを下されるんですか？」と訴えた場所が祭壇です。

その祭壇から声がしたというのは、この訴えに対する神の応えです。

「正義はないんですか?!」「いつまで裁きはないんですか?!」

この時は「殺されるはずの人たちの数が満ちるまで待ちなさい」（黙示録 6:11）と止めているんですね。その数が満ちるのは、患難時代の終わり（イエス・キリストの地上再臨）の時です。

そしていよいよ、裁きについて神が介入なさる。

悪に対する裁きが実行される時代。地上から悪が一掃される期間。これが患難時代の目的の1つです。

裁きの手段が、黙示録 9:14 その声は、ラッパを持っている第六の御使いに言った。

「大河ユーフラテスのほとりにつながれている、四人の御使いを解き放て。」

4 人の御使いとは誰か？ 御使いは天使ですね。天使って良い天使と思いがちだけど、ここではそうじゃなくて、神に反逆した悪魔に従って行った墮天使の事です。

なぜそれが分かるかというと、「大河ユーフラテスのほとりにつながれている。」

聖書には、良い天使が繋がれた状態にされているという記述はどこにもないんです。

逆に、ユダの手紙 6 節 またイエスは、自分の領分を守らずに自分のいるべき所を捨てた御使いたちを、大いなる日のさばきのために、永遠の鎖につないで暗闇の下に閉じ込められました。

ここに、永遠の鎖によって繋がれている御使いが出て来ます。

この御使いは自分の領分を守らずに自分のいるべき所を捨てた御使いたち。すなわち反逆した御使い。

繋がれた御使いは反逆した御使い。つまり墮天使。悪霊。4 人の御使いとは悪霊の親玉ですね。

今まで繋がれていたのが自由に活動出来なかったけど、この墮天使の親玉を 4 つ解き放った。

どこに繋がれていたのか？ 大河ユーフラテスのほとり。なぜユーフラテス川のほとり（そば）なのか？
今一般的な世界史では、人類文明発祥の地はシュメール文明です。

どの教科書も、人類文明はシュメール文明が最古の文明で、そこから始まったと言っています。
なぜなら、シュメール文明以前の文明の記録が一切残っていないから。
現存する記録の中で1番古い文明がシュメール文明ですが、この文明は初めから高度文明なんですよ。
忽然と高度文明がバーンと出て来たので、ある人たちは「宇宙人が来たんちゃうか」と。
「シュメール人は宇宙人だ」と、真顔でそういう事を書いている人が多い。

だけど、聖書はこれを合理的に説明しています。
人類は一度ノアの大洪水で滅び、その時、文明の記録は全部消えました。
ノアの3人の息子セム・ハム・ヤペテとそれぞれの奥さん、自分の妻の合計8人だけが助かったんです。
ノアの子孫たちはどこに住んだのか？シュメールなんです。

そして、ノアの息子ハムからクシュという息子が生まれ、クシュに息子ニムロデが生まれました。
ニムロデこそが人類史上初の独裁者です。
ニムロデの帝国は元々基礎となった場所が4つ、4つの古代都市が帝国の基盤となったんですね。

4つの町は、[創世記 10:9-10](#)

9. [彼（ニムロデ）は主の前に力ある狩人であった。](#)

[それゆえ、「主の前に力ある狩人ニムロデのように」と言われるようになった。](#)

10. [彼（ニムロデ）の王国の始まりは、バベル、ウルク、アッカド、カルネで、シニアルの地にあった。](#)

この4つがシュメールの地域です。この4都市が[ニムロデの王国の始まり](#)だと言うのです。
[カルネ](#)は現在まで発掘されていません。だから、どこに存在したのか分からない。
[アッカド](#)は世界最古の楔形（くさびがた）文字で、自分の国の歴史を文字で記録した最古の民族の1つ。

[ウルク](#)はイラクの語源です。イランの隣の国イラク。「我々は人類文明発祥の地に由来する国名を持っている。」色んな説があるけど、有力な説はウルクがイラクになった。
伝説ですが、ウルクの第1王朝5番目の王がギルガメシュ。
彼は1/3が神で、2/3が人間。神と人が融合していて、蛇とライオンを使うんです。

[バベル](#)は4つの町の中で1番中心です。ニムロデは中心地バベルに塔を建てました。“バベルの塔”。
バベルの塔の目的は、1つはニムロデを神として礼拝するための礼拝タワー・礼拝堂です。
バベルの塔の時代まで、人類は1つの言語で話していました。

これら4つの町は全部、ユーフラテス川に面している所にあるんです。
[カルネ](#)の場所は特定出来なくて、ユーフラテス川のどこかの遺跡にあるだろうと搜索されていたけど、治安が悪くなって今止まっています。

[大河ユーフラテスのほとりにつながれている四人の御使い](#)は、恐らくこの4つの偶像礼拝の中心都市に関係している可能性があると思います。「絶対そうや」と言ってるんじゃないですよ。
だけど、ニムロデの王国は4つの偶像都市によってスタートしたんです。
1番中心が[バベル](#)。ギリシア語でバビロン。バビロンのバベルの塔が偶像礼拝の根源です。
世界中に色んな宗教があって色々偶像があるけど、その話は時々似ていて、バベルの古代神話に由来している話が多いんです。それは[17章](#)で具体的に紹介したいと思います。

シュメール文明こそが古代の宗教のルーツだ、と言ってもいいと思うんですね。
ニムロデという神ならぬものを神として拝む全ての宗教の母。それがバビロンです。
このニムロデ・偶像礼拝の根源の地に繋がっていた4人の御使いが解放された。黙示録9章に戻ります。

黙示録 9:15-16

15. すると、その時、その日、その月、その年のために用意されていた、四人の御使いが解き放たれた。人間の三分の一を殺すためであった。
16. 騎兵の数は二億で、私はその数を耳にした。

4人の御使いが解き放たれた。そしたら、2億の騎兵が集まって来て、4人の指揮下で大暴れして、生き残っている人の1/3が死んだ。解き放たれる事によって、なぜこんな事になるのか？

バイデンさんが大統領になったら、中東政策はオバマ大統領時代の政策に変わると言われています。というのは、彼が持っている外交チームの中東問題班はオバマ政権時代のメンバーと同じなんです。

オバマ大統領は最後の就任の年に、ものすごい事をやってしまった。
何をやったのか？2016年、イランと核合意を結んだんです。
イランは2016年までの約30年間、世界中から経済制裁を受けていました。内緒で核兵器を開発しているという疑惑がずーっと持たれていたから。だから、イランとはどこも付き合わない。

唯一、例外的に付き合っていたのが北朝鮮です。北朝鮮のミサイルや核の技術が渡ったのではないかと代わりに、イランの原油が北朝鮮に渡っていたのではないかとされている。
もしイラン革命政府が核兵器を持ったらエライ事になる！というので、世界はそれをやめさせるために、約30年間イランに経済制裁をしていました。

ところが、オバマ大統領はそれを2016年にやめたんです。核合意をしたからって。
どういう事が簡単に言うと、「イランよ。10年間は核兵器の開発をやめなさい。そうしたら、その代わりに経済制裁を解いてあげる。」いいですか？10年間です。「永久に捨てなさい」じゃない。10年間だけ。すなわち、イランは11年目に核兵器開発してオーケー。イランに対して非常に甘い条約を結んだ。

オバマさんの考えでは、11年目になったら経済的に外国に頼っているだろうから、その時また延長したらいい。1年・1年で延長して行ったらいい。
だけど、アメリカの今までの中東政策を根本的に変えるような政策ですよ。
なぜイランに、こんなに急に甘くなったのか？

この時点で、イランよりもっと手強い敵が中東に現れました。イスラム国。
オバマ大統領は、「中東に派遣している軍隊をアメリカに撤退させる」という事を公約にして当選した大統領です。イスラム国を叩くために、ここでまたアメリカ軍を出したら泥沼になる。
しかし、このまま放っておくわけにはいかない。どうしたか？イランの革命防衛隊を使って、イランの手でイスラム国を叩いたら、これはいいだろう。という事で手を打ったんです。

イスラム国はもちろんアメリカを目の敵にしていますが、イランの事もめっちゃくちゃ嫌いなんです。

イスラム国はどうやって出来たのか？サダム・フセイン(1937-2006)がアメリカによって倒されましたね。サダム・フセインはスンニ派で、バース党という共産主義の政党のトップでした。彼が倒された後、バース党の人たちは公職追放令で無職になり、やる事がない。

独裁政権が倒れて出来たイラクの政府はシーア派。シーア派の人たちは元バース党やスンニ派の人たちをいじめました。その結果、彼らはテロをやり、そして刑務所にぶち込まれる。刑務所に入っている間に、カリスマ的なイスラム神学者と出会うんですね。それが自称バグダディ。バグダディ(1971-2019)は「出所する時が来たら、思いっ切り暴れてやろうぜ！」

刑務所は彼らが反省するための場所ではなく、出所したらどのように組織を作って、シーア派主導のイラン政府をぶっ倒して行くかという作戦を立てる場所。練りに練った作戦に基いて出所した時、バラバラだったスンニ派バース党の軍人たちを皆かき集めて、短期間で巨大な暴力組織になったんです。騎兵の数は二億(16)、それと同じ事です。

2億の軍勢とは何か？中国の事ではありません。悪霊です。昔、林彪(リンピョウ/1907-1971)が「我々は2億の軍勢を送る事が出来る」とホンマに言うたんですよ。言うたんですけど、これは中国人民解放軍ではありません。

黙示録 9:16-19

16. 騎兵の数は二億で、私はその数を耳にした。
17. 私が幻の中で見た馬と、それに乗っている者たちの様子はこうであった。彼らは、燃えるような赤と紫と硫黄の色の胸当てを着けており、馬の頭は獅子の頭のように、口からは火と煙と硫黄が出ていた。
18. これら三つの災害、すなわち、彼らの口から出る火と煙と硫黄によって、人間の三分の一が殺された。
19. 馬の力は口と尾にあって、その尾は蛇に似て頭を持ち、その頭で害を加えるのである。

騎兵の数は二億でとなっているけど、原文では“2万の1万倍”と書いてあるんです。2億という単位はギリシア語にないんですね。だから2万×1万で2億。耳にしただから数えたわけではない。「2万×1万！」と聞いて、パーッと計算したかしくなかった、とにかくそのまま言われた通り書いている。その数を耳にした。信じられないような数だ。

幻の中で見た馬。馬と書いてあるけど騎兵だから騎兵隊・人馬一体となっている。歩兵じゃない。馬に乗っている兵士が2億人。しかしそれは人間ではない。なぜ分かるか？

彼らは、燃えるような赤と紫と硫黄の色の胸当てを着けており、馬の頭は獅子(ライオン)の頭のようにしっぽは蛇。ライオンの口から火と煙と硫黄が出ていて、それを受けた人間の三分の一が滅んだ。乗っている者たちは、赤と紫と硫黄の色の胸当てを着けており。人間のような・獣のような・得体の知れない鶴(ぬえ)のような。

前回申し上げたように、聖書の中で、御使いは人間と動物が融合した姿で説明される事が多いんです。ケルブという御使いがいて(複数形はケルビム)、ケルブは一人一人に4つの頭があります。1つの頭に、正面は人間・右側はライオン・左側は牛・後ろは鷲。そして4本の手と4つの翼がある。そんな人間いてない。そのように表現する事によって、御使いの本質をそのまま述べているんですね。

馬の顔がライオンで、しっぽが蛇。そんなものに乗っている人民解放軍を見た事ない。

ここは書いてある通りに解釈するのがいいです。

以前、イナゴにたとえられている時にも説明しましたが、額面通りに受け取ると、これは悪霊です。

これら悪霊は、4人のリーダーが出て来るまではこの地上にうごめいていたのですが、本領発揮出来なかったんですね。しかし4人のコマンドを見つけると、その司令官の下で大暴れして、**これら三つの災害、すなわち、彼らの口から出る火と煙と硫黄によって、人間の三分の一が殺された。**(18)

患難時代の〈前半の前半〉で、1/4が殺されて3/4が残っていました。

その3/4の内1/3が殺されたので、最初から勘定したら人口が半減したということ。

つまり、患難時代は最初の3年半で世界人口が半分になる。

今世界人口は77億と言われています。最初の3年半で38億人消えたら、どれくらいパニックになりますか？しかも打つ手がない。もし人間の軍隊なら反撃出来ます。でも、相手は霊的存在だから人間の武器は一切通用しない。一方的にやられっ放し。これが第6のラッパで起こる裁きです。

そして「だれも数えることができないほどの殉教者が出た」と書いてあるんですが、ここで殺されている人たちは、その数えられないほどの殉教者を殺害した側の人たちです。

つまり、悪に対する裁きが下っているのです。その手段が悪霊の働きですね。

これが**ポイント2。審判の手段として用いられるものの正体。**

ポイント3。悔い改めへの招き

この時代1/3は亡くなった。では、生き残った2/3の人たちはどうしたかというと、

黙示録9:20 これらの災害によって殺されなかった、人間の残り(2/3)の者たちは、悔い改めて自分たちの手で造った物から離れるということをし、悪霊どもや、金、銀、銅、石、木で造られた偶像、すなわち見ることも聞くことも歩くこともできないものを、拝み続けた。

ここで、悔い改める事をしなかった代わりに5つの事をやります。

①自分の宗教にしがみつく

多くの人々が姿を消していき、命を落としていったのを見た時、それぞれが自分の神々に拝む。

その神々は**自分たちの手で造った物/偶像**。自分たちが殉教に追いやったあの人たちが信じている神/真の神ではなく、自分の宗教にしがみついて一生懸命に拝む。だけど、これは非常に惨めな事なんです。

悔い改めて自分たちの手で造った物から離れるという事をせず、悪霊どもを拝み続けた。

いいですか。ここで1/3は誰が殺したんですか？悪霊ですよ。

悪霊に苦しめられているのに、悪霊を神として「あなたは素晴らしいです」と拝んでいるんです。

自分が苦しめられている原因のもの/悪霊を拝んでいる。これは倒錯もいいところですよ。

アメリカの南隣のメキシコ、私も1回行った事があります。町がめっちゃカラフルで、遠くから見たらものすごくキレイ。わび・さびとちゃう。原色。赤・ピンク・黄色、遠くから見たらキレイ。

近くで見たら「なんや、この塗りたくりは！」みたいな。

メキシコは世界有数の麻薬の生産国で、それだけでなくアメリカへの麻薬密輸の有数のルートです。

アメリカで使われているコカインの9割はメキシコ産。中南米で作られた麻薬はメキシコルートでアメリカ南部から入ってくる。そして2500万人のアメリカ人が何らかの麻薬の常習者。苦しんでいます。

メキシコ内では麻薬組織・マフィアたちが縄張り争い。白昼から重火器を使ってバンバン抗争するので、治安が全然良くなる。それで2006年に大統領が戦争宣言しました。戦争とはどういう事か？

警察が持っている武器よりもはるかに優る武器をマフィアが持っているので、警察署に手榴弾が雨あられと投げ込まれ、麻薬組織撲滅を掲げて市長に当選した人はすぐに一家全滅。マフィアに狙われて。警察を全く恐れていない。市長なんて自由自在に拉致できる。行方不明になって、死体で上がったという話がいっぱいある。マフィアに対抗するのは警察ではもう無理。軍を出すしかない。それで2006年に政府が国軍を動員して、マフィアと戦争を始めたんです。

その時、サルバドル・シエンフエゴス(1948-)が国防大臣。ものすごく豪胆な男。見るからに「アンタの方がマフィアか?!」みたいなイカツい顔。実際、次々と有力なマフィア組織を潰していく。潰す言うても、特殊部隊を投入するんじゃない。戦車でバーツと、建物ごとぶっ飛ばして踏み潰していく。国民からは「この人怖いわ。でも、怖いくらいの人でないと麻薬撲滅でけへんから」という事で、ヒーローとして非常に尊敬され、数年前に国防大臣を引退しました。

その彼が先月、家族旅行でロサンゼルス空港に着くなり、アメリカ当局に身柄を拘束されたんです。実は、彼がメキシコ最大の麻薬カルテルの親玉だったんですよ。映画にでけへん？これ。政権の中樞にマフィアの親分がおった。「でも実際、色んなマフィア潰してたやないか！」ライバルマフィアを潰して、独占しようとしてたんです。そんな裏があるとは知らない国民は、サルバドル国防大臣を「ヒーローです！」と絶賛し、称賛を献げて「あなたは私たちの救い主です！」しかし、実は彼が悪の張本人。メキシコ国民、惨めだと思いませんか？馬鹿にするのもいい加減にしろと。それが黙示録の時代に起こるんです。悪霊が人間を苦しめている。その悪霊に向かって「あなたが助けてくれるはずですから〜！」(*お辞儀)

日本でもよく聞きますか？「一神教って妥協ないから怖い。」「一神教は戦争ばかりやってる。日本みたいに何でも色んな神々拜んで。宝船見てみ。七福神が肩組んで仲良しやってるやないか。これ以外アカンとか、そんなのが1番アカンねん。」そうする事で、唯一の真の神によいよ近付きにくくなります。「これは日本の伝統だから。」いや、日本の伝統の中には、守るべき良いものと捨てるべき因習の両方が入っているんです。古くから伝わるものの全てがいいんじゃないんです。その中には、捨てるべきものもあるんじゃないんですか？そうして進歩して来たんじゃないんですか？

偶像に縛られることによって、自分の魂の本物のお父さんの所に帰る事が出来ない。これこそが悪霊の策略で、きれいに罫に掛かっているという事です。悔い改める代わりにそれをした。

黙示録 9:21 また彼らは、自分たちが行っている殺人、魔術、淫らな行いや盗みを悔い改めなかった。

②殺人

殺人、原文では“数々の殺人”。単発の殺人ではなく、数々の殺人が常習的に行われている時代。殺されているのは殆どが殉教者ではないかと考えています。イエスを信じる者の殺人が日常のように行われている時代。それが患難時代です。

③魔術

魔術、原文では“ファーマケイア”。ファーマシー/Pharmacyは薬局。薬屋さん。ファーマケイアにはドラッグという意味があります。ドラッグには良い薬もあるけれど麻薬もある。

終わりの時代になればなるほど、麻薬に対する感覚が緩やかになるんじゃないですか？
今度のアメリカ大統領選挙の時に、それぞれ州ごとの州民投票をやっています。住民投票ですね。
「娯楽のためにハードドラッグを使っても OK にしましょう」という提案があって。落ちたんですけど。
麻薬にはソフトドラッグとハードドラッグがあります。コンタクトレンズみたい。

ソフトドラッグはいわゆるマリファナ。アメリカで海岸に面している所は、大体マリファナが公認で売られています。去年6月オレゴンに行った時「高原さん、これ何か分かりますか？」「ソフトクリームのお店ですか？」サーティワン好きやねん！サーティワンそっくりのネオンみたいな感じの所。
マリファナ売ってるんですよ。マリファナはソフトドラッグ。

ハードドラッグは使ったら常習性が非常に強くてやめる事ができず、一気にダメになってしまう。
コカイン・アンフェタミン・LSD など。
「自由が大事やから。自由が1番大事だから。使うか使わないかは本人の自己責任でいいじゃない。法律で禁じるってどうなの？」と、ハードドラッグを自由に売買出来るようにしようという住民投票。
ああ…。神を畏れる事なしに自由だけ追求していくと、人間は自由に殺されるんです。
後戻り出来ませんから。今アメリカはすごい事をやり出しています。
やめろ言うてもやめへんので、やめさせるドラッグを作って、出来ているんです。

私が胃カメラの時、いつもやってもらう麻酔薬フェンタニル、微量でイキますよ。いつも「今回はどこまで寝ないでいけるか、踏ん張ったるからな！」「あ、終わりましたよ。」寝たの、気い付けへんねん。
で、カルフェンタニルというのがあって、これは象を眠らせる人工覚醒剤。オピオイド。
メキシコではこれをコカインに混ぜて打っている。微量でめちゃくちゃキクからって。

魔術は昔から、薬物と切っても切れないんですね。これは今の時代を映しているように思います。
そういうものに対して、緩やかに緩やかになって行ってる。
患難時代はファーマケイアにふけているのが常態なんですね。

④淫らな行い

淫らな行い、ギリシア語で“ポルネイアス”。これから“ポルノ”という言葉が出来ました。
ポルノ映画・ポルノビデオ・ポルノ女優・ポルノ雑誌。原文の方がイメージ出来るかもしれません。
これは全ての不品行を包含する言葉で、夫婦の正式な結婚以外で結ばれる全ての性的関係はポルネイア。
聖書では1人の男と1人の女性が一夫一婦制で結婚する。それ以外の性は無いんです。
では、LGBTQ (Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender・Queer/Questioning) はどうなりますか？

トランプ大統領が何であんなに嫌われるかという、この問題について、その権利を過剰に認めて行く事に、非常に懐疑的で反対するからです。だから「トランプ大統領は差別主義者だ！」と言われて。

今から4年前、KKK (クー・クラックス・クラン/白人至上主義の差別団体) トップのデービッドなんか「俺はトランプが好きだ。トランプを支持する」と言ったんです。それがニュースでトランプ大統領の耳に入った時、大勢の前で「俺はお前のような団体の支持はいらん！お前の考え方や価値観は俺が1番嫌っているものだ！」白人至上主義の差別主義に対して「ノー！俺を支持するな！」と断言した。
大統領討論会で「あなたは差別主義だと言われている！」とバイデンさんは言ったけど嘘です、それは。ハッキリしてますよ。

トランプ大統領の周りを固めているのは、いわゆる福音派と言われるクリスチアンの政治家たちです。その価値観は、今のアメリカの海岸沿いの所（民主党）と真っ向から対立しますよ。だから叩かれます。

⑤盗み

盗みには色々あって、ちょっと深読み、読みすぎかもしれませんが、盗みとは私有財産の権利を認めない事です。俺の物は俺の物。お前の物も俺の物。ジャイアンみたいなね。

私有財産の正当な権利を認めない。これを突き詰めると共産主義。お前の物は国の物。俺の物も国の物。国の物…お前の物は党の物。俺の物も党の物。「党は俺の物」と言うのが習隠蔽ですよ。あ、金平やったみたいな。つまり、そういう事が常習的にずっと続けられている世界です。

ここで何度も“悔い改めなかった。悔い改めなかった”と書いてあって、21 節にも **自分たちが行っている殺人、魔術、淫らな行いや盗みを悔い改めなかった。**

これには“悔い改めてほしいのに”という言葉が隠れています。

“神は悔い改めて欲しいのに、彼らは悔い改めなかった。”と言っているのもあって、ただただ彼らの頑固さだけをあげつらっているのではない。つまり「悔い改めてくれ!」というメッセージですよ。

悔い改めるにはどうするか？彼らが迫害している人たちの言葉を聞く事ですよ。

患難時代にイエス・キリストを信じる人たちは、今よりもはるかに多く起こされます。

その人たちを殺すのではなく、彼らが語っている事・信じている事を聞いて、考えを変える事です。

悔い改めはギリシア語でメタノイア。“考えを変える”という意味です。

では、人はどのようにして考えを変えるのでしょうか？最後に1つお話して終えたいと思います。

私が今まで読んだ北朝鮮からの脱北者の話の中で、1番心に残っている本があります。

心に残っているというのは、感動というよりも怖くて、今も読むのが怖いというような本。

『北朝鮮 14 号管理所からの脱出』白水社から（2012 年）出ている。恐ろしい本です。

申東赫（シン・ドンヒョク/1982-）という脱北者の証言ですが、ただの脱北者ではないんです。

北朝鮮には政治犯収容所があります。彼は政治犯収容所に入れられたんじゃなくて、両親が政治犯で入れられたので、そこで生まれて、育て、収容所以外の世界を全然知らない人なんです。

世界は政治犯収容所。そこ以外知らない。

政治犯収容所には 2 種類あります。1 つは再教育目的で入ったけど出所可能な収容所。革命化区域と言います。反省の色がよく見られたならもう 1 度チャンスというので、出ることが出来る収容所。

もう 1 つは保釈一切無し。1 度入ったら死ぬまで出られない収容所。完全統制区域と言います。

彼が生まれ育ったのは完全統制区域です。

そこでは凄まじい労働・飢え・拷問・処刑・密告が日常化している。まさに生き地獄。

その人たちは当局から“絶望種”と言われているんです。

北朝鮮の普通の人々が聞かされていること、例えば「北朝鮮は偉大な国である。首領様は世界中の憧れの的で、この方に訓導されるのは素晴らしい事である」みたいな事を 1 回も聞いたことがない。

なぜなら、洗脳する価値さえない子供だから。ただ労働のためだけ。

彼は統制区域から出て来た唯一の成功例なんです。後に 1 例もない。

もう何回も読むのやめそうになり…。やめますよ、これ。

幼い時から重労働なので両腕が湾曲。背中の下半分とお尻まで、何回も焼きごてを当てられたので火傷の跡。1度火あぶりにされた時、彼を留めておくために恥骨が鉤で突き刺された。その跡が残っている。逆さにされた時の踵の傷とかね。少年の時、作業中に貴重なミシンを床に落としてしまって、中指第1関節切断。もう、これでもか、これでもか、これでもか…。

そして、自分の目の前で、お母さんとお兄さんが処刑されるんです。脱走を図ったから。脱走の密告をしたのは彼ですよ。読んで、気が狂いそうになります。なぜそんな事をしたのか？実際にお読みになったらいいと思いますが。

彼はそんな世界しか知らない。人間の心を失って。何かを想像するとか、待ち望むとか、希望を持って生きるとか全然ない。機械のようになって行きます。

ところが、奇跡が起こるんですね。ある時、新入りが入って来ました。バク・マンチョルという人。実はこの人、北朝鮮の上層部が知人において外国で生活した事がある。それだけ特権を得ていたのに、疑いをかけられて、一生出て来れない所に放り込まれた。

申さんは彼から外の世界の事を聞いたんです。北朝鮮だけが世界じゃなくて、隣には中国という巨大な国があるんだよ。北朝鮮の南には、もう1つ朝鮮の国があるんだ。それに、世の中にはパソコンとかテレビ・お金・携帯電話という物があって…。

お金の話をしても、見た事がないから分からない。お金の概念を話すけど、聞いても分からない。分かっても信じられない。話を聞けば聞くほど混乱する。

だけど、1つ彼の心をガッチリ掴む話があった。その話を何回もせがみました。それは焼き肉の話。「世界には焼き肉という食べ物がある。タレ付けて焼くとジュッと煙が上がって、ムチャクチャいい匂い。ひと噛み毎に肉汁が出て来てうまい。」「そんなにうまいんか？」「うまい。」「もういっぺん言うてくれ。」人間の心を完全に失っていたけど、焼き肉の話で「そんなうまい物があるんか。それ食うまで死ねん。」どうしても焼き肉食いたい！それが彼に生きる希望を与えたんです。彼は脱走を決断します。失敗したら絞首刑ですよ。

何回も下見をして、収容所の周りの事、データ全部頭に入れて。

いよいよ境界線に行ったら、3メートルの高さまで30センチ間隔の有刺鉄線で、高圧電流が流れている。30センチの所をくぐって行かないとダメです。

まずバクさんが入った時、触れたんですね。パチッと火花が散って動かなくなりました。死んだんです。彼は友人の体を絶縁バットとして利用し、死体の上を匍匐（ほふく）前進、芋虫のように這いながら脱出に成功しました。それから波乱万丈です。

彼に「この世界が全てじゃない。別の世界に行ってみよう」と考えを変えさせたのは希望なんです。焼き肉という希望。人間はとことん飢えたら…、生命の本能的な欲求・1番強烈な欲求～食欲・排泄欲・睡眠欲～が徹底的に取り上げられたら、他は何も考えられなくなるんじゃないですか？

「それを満たしてくれるものがあると分かった時、チャレンジして成功する確率が限りなく低いとしても、でも、やってみたいと思ってやった」と言うんです。希望が彼の考えを変えた。「このままで死ぬしかないんや。それでいいんや」の彼に勇気を与えたのは希望です。

